

令和 6 年度

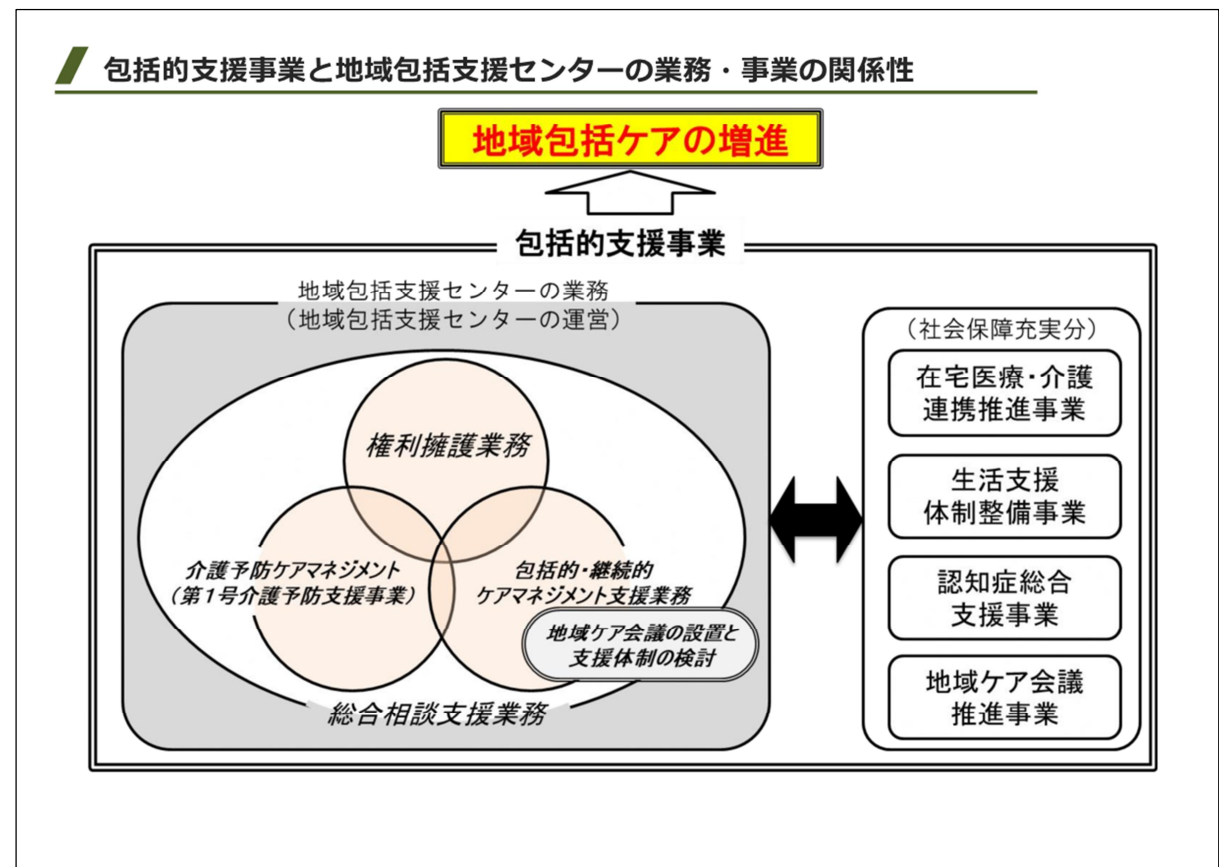
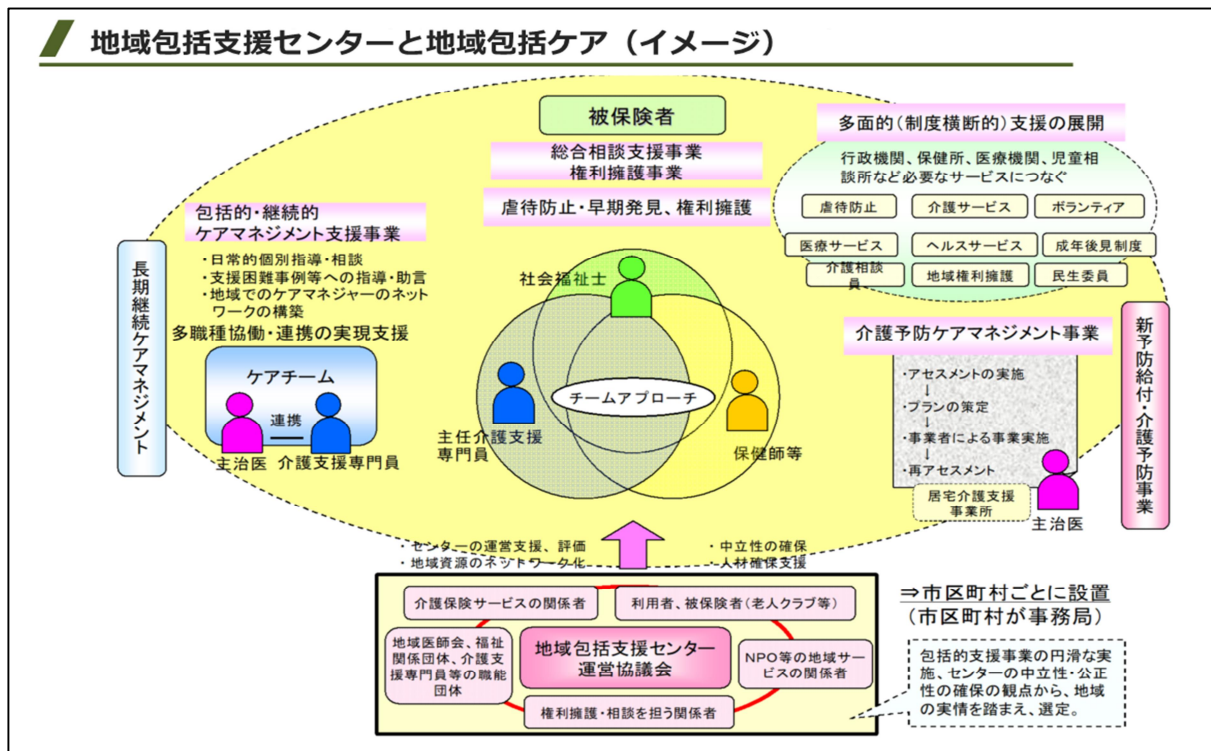
川西町地域包括支援センター事業報告書

川西町地域包括支援センター

目 次

- 1 地域包括支援センターの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 包括的支援事業（地域包括支援センター運営）・・・・・・ P 2
 - （1）総合相談支援業務
 - （2）権利擁護業務
 - （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- 3 包括的支援事業（社会保障充実分）・・・・・・・・・・・・・・ P 4
 - （1）在宅医療・介護連携推進事業
 - （2）認知症総合支援事業
 - （3）地域ケア会議推進事業
- 4 介護予防事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
 - （1）一般介護予防事業
- 5 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント業務・・・・・・ P 9

1. 地域包括支援センターの概要



2. 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

民生委員との連携を推進するため民生児童委員協議会後に出張相談を行っています。

②実態把握

民生児童委員協議会の協力を得て、高齢者単独世帯及び高齢者世帯の実態調査を行い、日頃の相談支援や緊急時等の対応につなげています。令和6年度は65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯の1,983名の方の実態調査にご協力いただきました。

③総合相談支援

高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っています。

相談件数・相談内容

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
内訳（重複あり）	介護保険について	326	440	577	587	538
	予防事業について	160	393	648	517	437
	医療・保健について	72	113	62	148	145
	経済的問題	5	6	1	15	5
	高齢者虐待	4	3	44	29	4
	成年後見制度等について	2	30	63	15	6
	施設入所について	11	30	14	26	13
	ケアマネジャー支援	6	49	38	48	23
	認知症に関すること	40	46	64	60	73
	地域に関すること	3	15	19	53	21
	障害・福祉について	3	14	4	4	0
	苦情・相談に関すること	1	8	4	4	2
	ケアマネジャーの選定	24	22	31	29	33
	消費者被害	0	1	2	1	17
	住宅改修・福祉用具購入	60	77	58	9	25
	その他	142	196	163	292	223
相談延べ件数		859	1,443	1,792	1,837	1,565

(2) 権利擁護業務

地域の住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからないなどの困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活が維持できるように専門的・継続的な視点から必要な支援を行い、虐待防止など的高齢者の権利擁護に努めています。

①成年後見制度の活用促進

成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族等に対して、成年後見制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介等を行います。

○個別ケース対応

一人暮らしで認知症のため金銭管理が難しくなってきたケースについて、社会福祉協議会やケアマネジャー、サービス事業所などと今後の課題や方向性の共有を図るための支援を行いました。

○成年後見制度住民講座

年1回開催している成年後見制度住民講座は、今年度は老い支度講演会として、社会人落語家で行政書士の講師を招き、講演いただきました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
内 容	成年後見個別相談会		終活セミナー	老い支度セミナー	老い支度講演会
開催回数	1回	1回	1回	1回	1回
参 加 者	3人	1組	30人	32人	42人

②高齢者虐待への対応

高齢者虐待については、町・包括で連携して対応にあたっています。今年度は1件の相談がありました。

虐待相談件数（疑い含む）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談延件数	4	3	44	29	4
相談案件数	1	2	3	4	1

③消費者被害の防止・成年後見制度利用支援等

今年度は、消費生活相談員による講座を2団体(計27名)に、天理警察による防犯講座を2団体(17名)に、また、終活講座としてエンディングノートの活用を中心とした講座を2団体(22名)に対し行いました。また、民生児童委員やケアマネジャー・ヘルパーに対して、消費者庁からの啓発チラシ配布も行っています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携等、地域において、他職種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況に応じて、包括的かつ継続的に支援しています。

①日常的個別指導・相談

令和6年度ケアマネジャーからの相談支援は、延べ96件ありました。内容として

は、認知症や精神疾患を患う高齢者や家族への支援に係る相談が多くみられ、支援困難事例のケースもあり、必要時には地域ケア会議で地域の関係者と共有を図り見守り体制を確認するなど、個々に応じてケアマネジャー支援に当たっています。

②地域における介護支援専門員のネットワークの活用

○ケアマネジャー連絡会

地域ケア会議で町内のケアマネジャーが集まる機会を活用し、相互の意見交換や町・地域包括支援センターからの情報提供等を行っています。令和6年度は3回開催しました。

3. 包括的支援事業（社会保障充実分）

(1) 在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を促進します。

国保中央病院圏域、東和医療圏域の広域で検討会をもち、事業の推進を行っています。

①在宅医療・介護連携に関する相談支援

在宅医療支援相談窓口を国保中央病院内に設置し、地域の医療・介護専門職からの相談に応じています。（相談件数：R6年度 1,221件）

②医療・介護関係者の情報共有の支援・研修

国保中央病院圏域事業として、令和6年度は多職種を対象に、「本人・家族が満足する看取りとは何か～在宅で看取りの支援がうまくいった事例から学ぶ支援のポイントについて～」をテーマにシンポジウム及びグループワークを行いました。医師・看護師・ケアマネジャーなど在宅医療に携わる職員で意見交換が行える貴重な場となりました。

東和医療圏域事業では、ケアマネジャーの入退院調整状況の把握を行うとともに、病院連携における課題などについて、市町村・病院関係者が集まり意見交換（テーマ：身寄りのない方への支援について）を行いました。

③地域住民への普及啓発

在宅医療についての知識普及啓発やACPについて考えるため、訪問看護師の協力を得て、地域の通いの場1団体（計10名）に対し出前講座を行いました。

(2) 認知症総合支援事業

認知症の早期発見や症状の悪化防止の支援、その他の認知症やその疑いのある方や家族に対する総合的な支援を行っています。認知症の人自身の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができる体制の構築を推進しています。

①認知症初期集中支援チーム

認知症が疑われる人や認知症の人とその家族を、複数の専門職によるチームが訪問し、認知症の専門医による鑑別診断等を踏まえて観察・評価を実施し、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行います。最長6ヶ月で安定的な支援体制を構築・移行し、身体や生活環境等の改善を図ります。チーム員は認知症サポート医や看護

師、作業療法士、精神保健福祉士、地域包括支援センター3 職種などで構成され、相談窓口は地域包括支援センターに設置しています。

令和 6 年度にはケアマネジャーを通じて 1 名の支援対象者を把握し、訪問によるアセスメント、専門医への受診やチーム員会議による支援方針の検討を行いました。また、検討委員会では支援チームの報告を受け、活動状況の検討を行いました。

②認知症地域支援推進員による活動

今年度は認知症地域支援推進員研修（現任者）を 2 名が受講しました。9 月のアルツハイマー月間の機会に、川西文化会館のオレンジライトアップを行うとともに、認知症普及啓発に関する展示を行いました。令和 6 年度は、認知症サポーターのメンバーが多世代コミュニティ広場「ピースカフェ」を立ち上げられ、その後方サポートを行っています。また、認知症ケアパスの見直しに向けた意見交換会を介護者や関係者を交えて実施しました。次年度は新たに活用できるケアパスへ見直しを図っていく予定です。



③認知症サポーター養成講座

認知症の基礎知識や認知症の人への対応等の講座を企画し、一般住民等を対象とした認知症サポーター養成講座を開催しています。令和 6 年度は地域の公民館とおくやまテラスにおいて講座を開催し、2 か所で 41 名の方に参加頂きました。また、カフェでスタッフとして活動されている認知症サポーターを対象に、チームオレンジの活動意義や理解を深めるステップアップ講座を開催し、10 名が参加されました。

認知症サポーター養成講座開催状況

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
開催回数	2 回	1 回	5 回	6 回	2 回
参加者人数	18 人	7 人	74 人	150 人	41 人

(3) 地域ケア会議推進事業

地域ケア会議には、個別のケース支援について検討する個別ケア会議と、個別の課題解決に向けてネットワーク構築や地域の高齢者にも通じる生活における課題や要望を把握し、資源開発や政策形成につなげる地域ケア推進会議があります。令和 4 年度より、上記 2 つの会議に加え、自立支援型地域ケア会議（利用者の自立支援・重度化防止に視点をおいたもの）も開始しています。令和 6 年度の地域ケア推進会議は、町の生活支援体制整備事業で行われる協議体とを合わせた”かわにしつながりネットワーク会議”として開催しました。

自立支援型地域ケア会議

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催回数	1回	3回	5回
参加メンバー 職種	リハビリ専門職 町内居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	本人又は家族 リハビリ専門職 町内居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	本人又は家族 リハビリ専門職 町内居宅介護支援事業所 地域包括支援センター

地域ケア会議

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催回数	7回 (個別会議6回)	4回 (個別会議3回)	6回 (個別会議5回) (推進会議1回)	5回 (個別会議4回) (推進会議1回)	4回 (個別会議3回) (推進会議1回)
参加者 延人数	62人	36人	61人	58人	29人
参加職種・ 機関数	14	6	12	16	13
個別事例 延件数	6件	3件	5件	4件	3件
推進会議 内容	5年間のふりか えりと、今後の 地域ケア会議の 展開		R3～4年度に検 討した個別事例 8件から見えて くる地域の課題	R3～5年度に検討 した個別事例12件 のモニタリングか ら見えてくる課題	生活支援体制整備 の協議体と合同で かわにしつながら ネットワーク会議 として実施

かわにしつながらネットワーク会議より

令和6年度 地域ケア推進会議資料

川西町地域包括支援センター

▼令和3～6年度に実施した地域ケア個別会議で把握した地域の実情及び課題をテーマ別に整理したものです。

テーマ	個別課題(個別事例より整理)	地域の課題	課題解決に向けて必要と考えられる取組み
1 生活支援	・介護サービスで充足できない生活の困りごとに対応して欲しい。	・既存の社会資源が活かされていない。知らずに活用できていない地域資源やメンバーがある。 ・需要と共有のマッチングができていない。	・活用できる地域の社会資源(地域の支え合い、ボランティア、民間サービス等)の情報整理・見える化と関係者間での共有
2 高齢者の社会参加	・ADLは自立しているが意欲低下と不活発な生活により認知症の進行や介護者の精神的負担が大きくなっている。本人が地域で活動できる機会がない。	・文化やスポーツクラブ等がなく、既存の活動の場行事が普及しておらず、一部の人の参加にとどまっている。 ・町内での参加に抵抗のある人も存在する。 ・必要な人に情報が届いていない。	・高齢者が参加できるような地域の活動や取組み等の広域的な情報整理・見える化と関係者間での共有 ・情報の発信
3 買い物支援	・スーパーや店舗までの距離が遠く、身体的に一人で歩くことが難しい。 ・自分で商品を見て選びたい意向、買い物を楽しみたいといった意欲が充足されない。	・近くに店舗がない。自宅から店舗が遠い。 ・運転免許の返納等により地理的に買い物に行くことが困難な人が増えている。 ・購入した物を持ち帰ること、長距離歩行が困難な人が増えている。	・スーパーや店舗に連れて行ってくれる人、近所にきてくれる移動スーパー等買い物支援に関する情報整理・見える化と関係者間での共有 ・個人のネットスーパー・活用力等の取得
4 移動支援	・目的地までの移動手段がなく、必要な外出ができない。 ・一緒に行ってもらえる家族等がなく生活が限定されている。 ・結果等を家へ持ち帰る場所に行くまでの移動が難しい。	・高齢に伴い、通院の必要性が増えているが自宅から病院が遠い。(回数が増えるタクシー代の負担が大きくなる。) ・運転免許の返納等により地理的に行くことが困難な人が増えている。活動範囲が狭くなってしまっている。	・活用できる交通手段(タクシー等)、費用助成の情報整理・見える化と関係者間での共有
5 認知症に対する理解の促進	・同居家族に認知症に対する理解があまりなく、本人が一人で外出することへの危機感がない。	・認知症に対する適切な理解、認知症について気軽に話や相談ができる地域づくりが求められている。	・認知症施策の展開 認知症ササゲー養成講座の実施...若年層へのアプローチ 住民向け講座や相談の実施 認知症ケアにおける相談支援 行方不明防止への取組み...高齢者見守りネットワーク事業参加者の拡大等 ・認知症ササゲー(オレンジビーズ)の活動促進
6 認知症の見守り・対応力の向上	・認知症進行による徘徊な散歩で家に居られなくなり警察に保護されることが増えている。 ・妻の徘徊が不安で夫が安心して外出できない。	・認知症の力を家族だけで支えることには限界がある。 ・周りの人々が寄り添い支え合える環境づくりが必要である。	
7 介護者の負担軽減	・本人のサービス利用拒否が強いいため仕事を辞めて介護する娘が社会から孤立し精神的負担も大きくなっている。 ・自身も疾患を抱えながら認知症の妻を介護する高齢者のストレスや悩みも大きくなっている。 ・仕事、家事、介護を担う息子の負担が大きい。 ・夫に依存する認知症の妻を常に見守ることで夫自身が自分の時間をもつことができない。	・介護を家庭(家族)内で抱え込みがちでしまっている。 ・当事者同士が交流できる場がほとんどない。	・介護の孤立化を防ぐ地域づくりの醸成(地域住民の支え合い、意識の醸成) ・介護の悩みや愚痴を語り合える場、介護者同士が交流できる場の創出 ・適切な介護や疾患に応じたコミュニケーションの取り方、ストレスケアの方法、アンガーマネジメントを学ぶ場の提供
8 独居高齢者の孤立感や不安感の解消	・一人暮らしで地域との関わりがなく、孤立感や不安感が強くなっている。	・独居高齢者、親族との関わりが希薄な高齢者が増加している。 ・コロナ感染症の影響もあり他者との関わりが希薄になり孤立している高齢者が増加している。	・身近な地域で人と関わることでできる草場づくり ・受容的傾聴や守秘義務を遵守できる傾聴ボランティアの育成
9 人生の最期の自己決定	・疾患による急激な状態悪化で意思がとれなくなった場合、本人の意向に沿った支援等が難しい。 ・無知な本人、病識や予後予言が不十分な同居家族、自宅で最期を迎えるイメージがなく、意欲的に通院しない。	・人生の最期について話し合う機会や場がほとんどない。 ・地域における在宅医療に関する情報が普及していない。	・在宅医療に関する正しい認識や理解の定着 ・住民向けのエンディングノート、ACP、ターミナルケアに関する普及啓発の推進 ・積極的に住居に移動して、訪問看護と直接連携しやすい医療機関情報の整理・見える化と関係者間での共有 ・在宅医療機関のつながりの強化
10 介護サービス・支援者拒否への対応	・不衛生で介人が必要な状態だが、本人がサービスや家族の支援や介護を拒否している。 ・ふみつけが拒否、受診拒否のため健康状態が不明瞭である。	・周囲の人からのアプローチに限界がある。	・本人だけでなく、同居家族の支援が必要な場合の他機関との連携・ネットワークの強化 ・医療機関との連携

住民のニーズ
や困りごと

マッチング

「暮らしのガイドブック(仮称)」作成

活用できる
地域資源

4. 介護予防事業

(1) 一般介護予防事業

一般介護予防事業は、年齢や心身の状況等にかかわらず、高齢者が要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指すことを目的とし、65歳以上の高齢者すべてを対象としています。

①出前講座

介護予防の理解を深め、健康づくりの支援として地域の公民館や公共施設等で体操教室や認知症予防などの講座を行います。令和6年度は、認知症サポーター養成講座や消費者被害・防犯講座として出前講座を行いました（再掲）。

②短期集中運動教室

家で一人でもできる体操を学び、楽しく運動習慣を身につけるため、契約している運動指導の講師が会場に赴き、5～15人程度の少人数のグループに対して、週に1回（計12回）の体操指導を行っています。平成29年度10団体に実施し、教室終了後は自主的な体操グループとして、運動習慣が継続されるように働きかけ、多くは自主体操グループとして活動を続けておられます。令和6年度本教室の申込みはありませんでしたが、新たな体操団体が1団体活動されています。

短期集中運動教室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加人数	9人	申込なし	14人	申込なし	申込なし
団体数	1団体	申込なし	1団体	申込なし	申込なし

③自主体操グループ継続支援事業

週1回以上活動している自主体操グループが、今後も継続して活動を続けられるように、体操用DVD（「いきいき百歳体操」や「かみかみ百歳体操」）や必要物品の貸し出し、介護予防講座の開催や制度の紹介しています。また、いきいき元気教室と称し、年3回の体操支援を行うとともに、グループ毎に包括職員が担当となって相談を受け、自主活動への支援を続けています。

いきいき元気教室（1クール3回）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数	9団体	10団体	9団体	11団体	12団体

*R2年度は健康講座も併せ1クール5回で実施



④地域リハビリテーション活動支援事業

現在は、自主体操グループに対し、年1回リハビリテーション専門職を派遣し、効果的な運動が継続できるよう支援を行っています。令和6年度は11団体に実施し、102名が参加しました。

⑤もの忘れ相談会

令和4年度より、物忘れが気になる方の早期発見・早期治療に向けた対応として相談会を開催しています。今年度は定例相談会に2名の方が、おくやまテラスでのまるっと相談の機会に4名の方が参加されました。

⑥高齢者教室

65歳以上の住民を対象に、川西町教育委員会と地域包括支援センターで高齢者教室を共同開催しています。令和5年度は認知症サポーター養成講座を行いました。

高齢者教室

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催回数	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	1回	1回	1回
参加者数			46人	71人	52人
内容			効果的なウォーキング	認知症サポーター養成講座	フレイル予防の講話と簡単な運動

川西町自主体操グループ いきいき百歳体操 マップ (令和6年4月1日現在)



地域の方が運営する週1回、運動ができる「通いの場」が町内各地で開催されています。
誰でも参加できますので、気軽にご参加ください。

【新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催が中止されている場合がありますので、ご注意ください。】

①さつき会 会場：市場公民館 (昭和64-1) 活動日：毎週水曜日 時間：午前10時～11時30分 会費：必要時、相談して集金 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操	②井戸ふれあい広場 会場：井戸公民館(昭和1411-1) 活動日：毎週水曜日 時間：午後1時30分～3時00分(祝は休み) 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操 ゲームや講座 など	③マック結崎クラブ 会場：マック結崎オリエンタルハウス エントランス (昭和636-1) 活動日：毎週水曜日 時間：午後1時30分～2時30分 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操	
④西城体操クラブ 会場：西城公民館(下永583-3) 活動日：毎週水曜日 時間：午後1時30分～3時00分(祝は休み) 会費：無料 内容：いきいき百歳体操			⑤ひまわり会 会場：出雲郡公民館 (昭和576-1) 活動日：毎週水曜日 時間：午前10時00分～11時00分 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操
⑥ニコニコ会 会場：上田町公民館 (昭和1100) 活動日：毎週火曜日(祝日も活動) 時間：午前9時30分～10時30分 会費：無料(お弁当を頼むときは実費) 内容：笛、しりとり、歌、踊り 休 止 中			⑦元気体操の会 会場：結崎老人憩いの家 (昭和152-102) 活動日：毎週金曜日 時間：午前10時～11時(祝・盆・正月は休み) 会費：1回30円 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操
⑧元気会 会場：南田公民館 (昭和714) 活動日：毎週月曜日 時間：午後1時30分～3時00分 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操 これから音頭			⑨南田地の会 会場：結崎南田公民館 (昭和421-44) 活動日：毎週水曜日 時間：午後1時30分～2時30分 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操 ラジオ体操、棒体操 ゲーム など
⑩ダイヤの会 会場：渡部公民館 (昭和184-1) 活動日：毎週火曜日 時間：午後1時30分～3時 会費：必要時、数回程度 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操 これから音頭、DVD体操 など	⑪のぞみ会 会場：渡部公民館 (昭和184-1) 活動日：毎週月曜日 時間：午後1時30分～3時 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操	⑫ささゆり会 会場：渡部公民館 (昭和251-1) 活動日：毎週金曜日(月・火) 時間：午後1時30分～3時 会費：必要時、300円程度 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操 これから音頭 など	⑬めくらクラブ 会場：老人憩いの家(川西町保健センター内) (昭和217-1) 活動日：毎週金曜日 時間：午後2時00分～3時00分 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操
			⑭はつらつ会 会場：渡部公民館 (昭和184-1) 活動日：毎週月曜日(祝は休み、翌日火曜日開催) 時間：午後1時30分～3時00分 会費：無料 内容：いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操 ラジオ体操、足元体操、棒体操 クイズやゲーム など

【お問合せ】川西町地域包括支援センター 電話0745-42-1180

5. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務

支援が必要な高齢者（要支援認定者や事業対象者）に対して、その心身の状態・本人と家族の意向等をアセスメントし、課題を整理し、ケアプランの作成、モニタリング、評価、再アセスメント等を実施します。また介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務は、居宅介護支援事業者の一部委託ができます。

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実績件数

提供月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営	要支援1	18	16	17	17	17	17	17	17	17	15	15	15	198
	要支援2	42	43	41	40	39	39	36	35	32	33	31	32	443
	事業対象者	7	7	7	7	6	7	7	7	6	6	6	6	79
	小計	67	66	65	64	62	63	60	59	55	54	52	53	720
委託	要支援1	26	26	27	27	23	23	25	23	24	23	24	25	296
	要支援2	54	56	58	60	36	36	39	36	39	38	37	45	534
	事業対象者	1	1	1	1	3	3	1	1	1	2	3	3	21
	小計	81	83	86	88	62	62	65	60	64	63	64	73	851
合計		148	149	151	152	124	125	125	119	119	117	116	126	1571

委託先居宅介護支援事業所

委託先居宅介護支援事業所名	所在地	委託先居宅介護支援事業所名	所在地
川西町社会福祉協議会	川西町	七色ケアセンター	田原本町
川西町地域ケアプランセンター	川西町	有限会社ミオの家	大和高田市
田原本園在宅介護支援センター	田原本町	居宅介護支援事業所あんしん館	斑鳩町
介護支援事業所たんぼぼ	田原本町	やすらぎケアプランセンター	大阪市
介護センターいちご	田原本町	*介護センター菜の花	三宅町
奈良ヘルスケアシステム	田原本町	*ケアプランセンターおおたに	田原本町
居宅介護支援事業所ウェルケア悠	大和郡山市	*居宅介護支援事業所ぬくもり	香芝市
ケアプランセンター夢	天理市	*老人保健施設サンライフ田原本	田原本町
ライフサポートうさぎ	天理市	*ケアプランセンターあまてる	田原本町
介護老人保健施設若草園	安堵町	*ケアプランセンターかいごの窓口	田原本町
訪問介護ステーションそらまめ星和台	河合町	*ケアプランセンターあんしん館	広陵町
居宅介護支援事業所あかべ	広陵町	*クライムハイケア居宅支援事業所	天理市
有限会社やまびこ	上牧町	*あなたの暮らしの相談処 AKARI	桜井市
居宅介護支援事業所かごめ	上牧町	*ケアプランセンターうららか	斑鳩町
ケアプランセンターフォーシーズン	天理市	*田原本在宅介護支援センターサンライフ田原本	田原本町

全 30 事業所

*・・・今年度新規委託契約事業者

6. その他

令和6年度より、指定介護予防支援事業所として義務化された事項への取り組みとして、下記のとおり委員会や研修会等を実施しました。

①業務継続計画(災害・感染症)

研修及び訓練 . . . 年1回

②感染症の予防及びまん延の防止

対策委員会 . . . 年2回

研修及び訓練 . . . 年1回

③虐待防止

対策委員会 . . . 年1回

研修及び訓練 . . . 年1回